



はやての魔法
「小さいままのフェイトちゃん」

Presented by 魔法新機組
for adult only

「くすっ、フェイト隊長、
よう似合ってます」
「うーん、なのは……」
「あーん、もう、またなのは
ちゃんのこと呼んで」
「うーん、なのは……そんなに
食べられないよ……」
「くすっ、どんな夢みとるんやろ」





「フェイトちゃん、おいかわらず胸おっきいね」
「すず、はやく、だめだよそなたとこももじや」
「フェイトちゃんの胸、すっぴんやわらかくて
気持ちええわぁ●おな、どっかっただらいいな」
「大きくねるの。」

「ぞ、そなたと、しらないやっ、こなたに大きく
なっちゃって、私もどっかおっかっと思ってるんだから」

「あーもう、フェイトちゃんかわええなま。
どうやったらもっとフェイトちゃんと仲よ
なれるんやろな・・・」

「えっ？な、なんで私昔の姿に！」
「フッフ、油断大敵やで、
フェイトちゃん」
「普通にやっとならたらフェイトちゃん
一生こっちを向いてくれへんからな」
小さいうちから、仕込んでみたら
ええんじゃないかと思ったんや」

「ふえっ？仕込むって？」
「今、うちの魔法でな、
フェイトちゃんを昔に戻したんよ。
んでな、小さいうちから
なのはちゃんに負けなくらいの
思い出をフェイトちゃんと作っておけば
フェイトちゃん、うちのモノに
なるんと違うかなって」
「え、えええええええー！」







見て、フェイトちゃん、
私フェイトちゃんのこと考えてたら、
足のほうからおなかのほうまで
熱いものがこみ上げてきて、

震えてもうて、
どうしようもないんや。



はやい、お尻が震えている...

それに、
パンツはいてない...

どうしたんだろう、
なんか私、すごく
ドキドキしちゃうてる



あかん、それ以上
上はあかんっ！あかんよっ
舌でなぞっちゃっ

はやての足、舌に
吸い付いてくるよ・

ひゃあああああっ！

ズン

あ、あ、ああっフエイトちゃん、
あかん、あかんつきちやう
きちやうよっ！

ビクッ

くちゅっ、ちゅっ、はむっ
じゅるっ、ちゅるうっ

はやて・・・もうちよっとだから
もうちよっとで、その熱いのを
鎮めてあげられるからね

顔にかかってまっつ
フエイトちゃん、
どいてっ！

あ、あ、でちゃ、でちゃう、フエイトちゃん、
顔にかかったちゃう、かかったちゃうようっ！
あかんっ、あかんっ、あああっ！

びゅん！

はやて、はやてっ、でてるっ、
いっはいでてるよっ
ふあああ、かかてる、
いっはい、私の顔にかかてるようっ！



フエイトちゃん・
私のあそこから出た液体が
顔に・・かかっている

はぁっ

はぁっ

いっぱい濡れてもうたな・
綺麗にせな、あかんよな・
なあ・

はぁっ

はぁっ

はぁっ、はぁっ、
はやて・・



はぁっ・・フエイトちゃん、
顔、すべすべしてて、
しよっぱくて、ええ味や。

でもな、フエイトちゃん、
まだ終わらないで。
もっと気持ちええことしよな。

ビュッ!

え、はやて、それって、
ひゃあっ、ちよっとまってっ!

さあフェイトちゃん、
私のあそこフェイトちゃんの
あそこをこすりっこしよな

めっちゃ気持ちよくて
なのはちゃんのこと、
忘れてまうで

はぁ
はぁ

はやて、だめだよっ、ね、
ちよっと落ち着いて、
ね、あああ

あああああっ！
だめえっ、なのはあっ！

ひゃあっだめっだめえっ
私には、なのはがっなのはがっ！

だめだめっ
はああああっ！

フフフフェイトちゃん、めっちゃ
気持ちよさそうやなあ。
無理もないで、私の魔法には
フェイトちゃんの心を高ぶらせる
効果もあるんやから。

なのはっ、ごめんねっ
ごめんねっ、私、わたしっ
もう、もうっ！

フェイトちゃん、
胸ちっちゃくて、
すっごくかわええで

だめっだめなのにつ、
はやてのあそこと
私のあそこがこすり
あわされると

どんどん、身体が熱く
なってきた、痛いちゃって、
どうしようもなくなるっ

フェイトちゃんっ
私もっもうあかんっ、
気持ちよすぎてっ
いってまうっいってまうっ！

フエイトちゃんっ
フエイトちゃんっ、
あかん、私、私もう、はああっ
だめっ、きちやう、きちやうっ！

フエイトちゃああああああんっ！

はぁぁぁぁぁっ！
いっちゃん、いちゃうっ
だめっはやてっそれ以上はっ
あ、あ、あ、あぁぁぁっ！

はやて、だめっだめえっ！
はあああああっ
はあああああああああっ！

もうーひどいよはてっ
強引にこんなことしてっ

→戻った

むっ

私、なのはになんて
あやまれれば……

フェイトちゃん、ごめんな。
でも、私もなのはちゃんと
フェイトちゃんに
まざりたかったんよ。

ずっと3人で
がんばってきた
仲やんか。だから

はて……

なのはちゃんのことを
スキなのと同じだけでええから、
私のことも好きなままでいてな。



はやて、フェイトのことがすきで、なのはに嫉妬している。
なのはに嫉妬している自分が嫌い。
状況打破の最終手段として、フェイトになのはと3人で百合しようと持ちかけて、
3人LOVEにしようとする。



なのは、はやての考えを知ってか、ちょっと複雑。でも腹黒いなのはさんは、
はやてもこの機会に自分のものにしようとする。



フェイト、純情なので、3人LOVEを受け入れる。
でもなのはが1番。



ヴィータ、はやてのことが好き。
フェイトのことが好きなはやてを、なんとかこっちに向かせようとする。
しかし、空回り。

■この本に登場するキャラクターは、全て18歳以上であり、
実在の人物、団体とは一切関係ない空想の産物です。

は、はずかしゅうて、
これ以上みせられへんわ・・・
え？それでも見たいって？
もう・・・しゃあないなあ。
あ、あかんで、そんなに
見たら、もうっ



私気どどえやは
も持うんっああ
気ち、どちっ、
持え気んい、
ちえ持おわこち
よ？ちっあれゅ
くふえき。っ
なあえゅはな、
っっ？うあんく
て、ねなっかち
きたえっゅ
たんて、っ
っか





はだきあそあ、
あめち、持ん、
っつやあちなあ、
、うかよにっ
はだ、んす動や
あめき、ぎかあ
っえちもやさっ、
っつやう・ん、
！！うだ・んとい
っめ、て

■あとがきです。

ここまで読んでくださった方、お手にとってくださった方、
ありがとうございました～。

今回は、フエイトに恋しちゃったはやてという設定で
お話を進めていきましたが、いかがだったでしょうか？

なのはとフエイトのラブラブをずっと傍目みていたはやて
でしたが、今回、秘策を思いついて、なのはがらフエイトを
かすめとっちゃおうと、企みます。

とりあえずHな事をフエイトにすることはできましたが、
フエイトの心は以前なのはの方へ・・・
続きは、今回の冬コミで出しました2冊目のほうになります。

さてさて、次の参加イベントなのですが、まだ現在未定なのですが
2月のサンワリに出ればな～と思っています。

只、申し込みし忘れたので（汗）香託参加になるかと思います。
今考えているのは、エリオがフエイトとなのはに・・・みだいな
話です。

リリマ3の本で、同人ゲームの情報の本を冬コミで
出すとが書いていたような気がしましたが、
出せなくてすみません（汗）
おそらく、春のイベントではなにがしら情報が
出せると思いますので、少々お待ちください。

それでは、また～♪

香月☆一

■ おくづけ

はやての魔法「小さいままのフエイトちゃん」

発行：魔法新撰組 発行者：香月☆一

発行日：2007/12/31

コミックマーケット73 第一刷 発行

HP:<http://www.din.or.jp/~momitan>

Mail:momitan@din.or.jp

印刷：ねこのしっぽさま

本書の無断転載・掲載・複写を禁じます。

For adult only

